

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 7月 29日

(提出先)  
横浜市長

神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 パシフィックマークス新横浜  
住所

株式会社横浜環境デザイン  
氏名  
代表取締役 池田真樹

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社横浜環境デザイン 代表取締役 池田真樹	
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 パシフィックマークス新横浜	
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	1988年7月に創業し、住宅用公共用太陽光発電システムの設計、施工、販売を行っている。 「屋根貸し」太陽光発電事業や、自家消費型太陽光発電事業をおこない、今後も施設の用途や目的に合わせた多彩なニーズに応えられるソリューションを提供している。 2017年11月に小売電気事業者(A0453)の登録を行い、市内の高圧・低圧需要家へ電気を供給している。	
担当部署 連絡先	事業所名	株式会社横浜環境デザイン
	部署名	管理本部 総合企画部
	電話番号	045-534-8289
	E-mail	retail@ykdesign.co.jp

### 2 対象年度

提出年度 2020年度  
(当年度)

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>戸建ての住宅、マンションの屋上、工場屋根などに太陽光発電設備を設置することを推進している。第三者保有モデルのプランも産業用、住宅用ともに提供しており、食費用無償をメリットにして太陽光発電の普及に繋げる。</li> <li>2020年7月には神奈川県が行う「0円ソーラー」事業者にも認定され、設置容量が3kWからの住宅用の屋根にも初期費用無償で太陽光発電設備を設置出来る取り組みも進めている。</li> <li>自家消費型太陽光発電の提供を進めており、公共用は市内の小中学校などに、産業用は大手企業の本社や病院などに太陽光発電設備を設置しており、今度も市内公共施設や企業工場などの屋根に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を使ってもらい、電気代の削減だけでなくESG投資対策や災害時のBCP対策に役立ててもらおう。</li> <li>ソーラーシェアリング(営農型発電事業)の取り組みも行い、エネルギーの自給率と食品自給率の向上に貢献していく。</li> </ul>
--

4 推進体制

資料を添付させていただきます。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	ホームページにて公開しております。 <a href="https://yokohamanodenki.jp/">https://yokohamanodenki.jp/</a>

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	ホームページにて公開しております。 <a href="https://yokohamanodenki.jp/">https://yokohamanodenki.jp/</a>

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

<p>・2018年12月に、新都市プラザにて温室効果ガス削減の行動を促す市が主催の「COOL CHOICE YOKOHAMA エコ新発見！」に参加させて頂き、ブースを出展し、一般の方へ低炭素電気の普及を行った。</p> <p>・2020年7月に、神奈川県「0円ソーラー」事業者になり、初期費用無償太陽光発電設備を設置するプラン「かながわのでんきプラン」をリリースした。</p> <p>・自家消費型太陽光を、市内の工場屋根に258.66kW・市内の老人ホームに45.6kWを設置した。他にも千葉県の大学や、全国の商業施設などに設置した実績がある。今後もRE100やESG投資が活況になる中、サプライチェーン全体で取り組む脱炭素経営に対するニーズに対応していく。</p> <p>・県内に本社を持つ工務店が経営している野菜工場の屋根を仮て、自家消費型太陽光発電を設置し、東京電力エリアの需要家へ電気を供給している。</p>		
	対応の可否	<input checked="" type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input type="radio"/> 対応不可
RE100に対応した電気の供給	備考	再生可能エネルギー(風力・太陽光)を市内の需要家へ供給することが可能。要望があれば非化石証書の購入にも対応する。、

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	2019年度	2020年度	2023年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数		0.311	0.200	0.150
把握率 (%)		100	—	—
調整後排出係数		0.518	0.200	0.150
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数 に対する前年度の 排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置 のための取組	今後の取り組みとして、再生可能エネルギーの電源保有率を上げるとともに、販売電力量も増加させるべく営業活動をおこなっていく。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量		1459	2000
市内		220	300

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	3452	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)			867	25.12
太陽光				
風力			867	25.12
水力				
その他 ( )				
再生可能エネルギー (FIT電気)			701	20.31
太陽光			701	20.31
風力				
水力				
その他 ( )				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]		実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	
削減相当量				0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

横浜市内の学校の屋根上に太陽光発電設備を設置しており、2020年度内に再生可能エネルギー特定卸供給契約を締結して、横浜市内の需要家へ再生可能エネルギーの電気を供給する予定。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

- ・自社が保有する太陽光発電尾の電気を、当社に切り替えて再生可能エネルギーの電気で賄うようにする予定。
- ・太陽光発電業界20年のパイオニアとして、一般住宅からアパートマンションを始め、10kW以上の産業用太陽光発電の設計施工を行い、低炭素電気の普及に努める。

別紙 推進体制図

